

平成29年度 地域連携活動報告書

連携先名称	ちちぶ定住自立圏	担当教員	宮林茂幸・立岩寿一
活動状況	終了	関連教員	長島孝行
協定締結日	平成29年11月17日	—	—
活動内容	学生による秩父市吉田地区を考えるワークショップを開催（農学科 長島教授）。4年をかけて活動を行い、報告会を行った。		
活動成果	2017年1月31日、「これからの吉田を考える」ワークショップ フルーツ街道沿いで農業を行っている専業農家の方々、フルーツ街道に関わりのある方でワークショップを行い、また、ワークショップの後には4年間の活動報告を行った。 ①今回のワークショップで意見としては、 ・フルーツ街道の役割は 観光農園 である。 ・フルーツ街道入り口の看板がわかりづらい 新しくつくるのはどうか？ ・釜の上農園村の十字路にある標識にはフルーツ街道の表記がない。地域住民から意見書を集めれば行政に頼める。 ・皆野寄居有料道路からフルーツ街道方面を示す標識を申請している。これも地域住民から同意を得られれば通してもらいやすくなる。等でした。この中から 看板をリニューアルする 方向で話し合いを進めていった。 ②看板を立てるとして、どんな目的があるのか考えた。 ・どこからがフルーツ街道でどこまで続いているのか、看板に入り口 出口が表記されていないので、入ってくる時点で迷う。また、途中でフルーツ街道が続いてるのかわからなくなる(耕作放棄地地帯と橋の部分)。➡実際にお客さんから電話があったこともある。 ・看板の絵が見えづらく、フルーツ街道に何があるのかわからない。 このように、既存の看板にいくつか改善点があることがわかります。 ③新しく作るとしてどんなものにしたいかについては ・フルーツ街道の入り口と出口を分かりやすくする ・フルーツごとに看板からの距離を表記し、場所を分かりやすくする。 ・ブドウ、イチゴ、ブルーベリー、カブトエビ、ハウネンエビの絵をいれて印象を強める(フルーツ街道のイメージキャラクター)。 ・各フルーツ狩りの時期、案山子祭りの時期も看板に表記し看板をパンフレットがわりにする。 等の意見が出ました。これらの新しい看板は、フルーツ街道協議会内で話し合い、自分達で手作りしようと計画されています。 6月にある定例会での提案に期待される。 長島教授、学生が吉田地区住民の方へ講演を行い、秩父市吉田地区の住民とワークショップにて話し合いを重ね、これからの吉田地区について考えてきた。農家の方からフルーツ街道への入り口が分かり難いと意見があり、看板リニューアル向け、フルーツ街道協議会で話し合うことになった。		

